

ヤバい仕込み

ロケグー

- 番組制作者向け ロケ仕込みマニュアル

**企業・ロケ地と良い関係を築く
仕込み方&バラシ方
そしてトラブル対応**



やってませんか？

製作：株式会社ロケグー(ロケ地検索サイト運営)

広報さん500人と話した！本当に困る番組制作者あるある

01 わざわざ問い合わせに対応したのに折り返しがない

02 取材・ロケのバラシ連絡がない

03 傲慢な態度や上から目線の言動

04 注意事項を番組内で共有せず守ってくれない

05 打ち合わせの内容と収録・OAの内容が異なる

テレビ取材に対して悪いイメージを抱く方が予想以上に多かった

①守って欲しい仕込み&バラシの3つルール

01

問い合わせたら 必ず返信する

問い合わせだけして、取材する企業だけに返信しがち。ちゃんと問い合わせしたら返信するのが、社会人としてマナー！

02

バラシ連絡を 忘れない

企業は取材の有無を期待してずっと待っています。バラす場合は忘れずに連絡。その際、対応してくれた感謝も伝える。

03

謙虚な姿勢で 対応する

取材をさせてもらう姿勢で対応。わざわざ時間を割いて、取材に応じてくれています。横柄な態度は業界全体の悪です！

ビジネスマナーを守って連絡するだけ良い関係が保たれます

テレビだから特別ではない！ビジネスマナーや礼儀を守る

ロケや取材は 企業が合った成り立つ！

多くの企業はメディアに取材して欲しいと思っていますが、協力してくださる企業やロケ地があって、初めてロケや取材が成立することを忘れていません。互いに持ちつ持たれつの関係で、上下関係は存在しません。しっかりと社会人としての当たり前前の礼儀やマナーを守ることが大切です。



②トラブルを防ぐ社内共有と上長への相談

01

P・APにも 注意事項の共有

ディレクターのみに企業からの注意事項を共有せず、AP・Pにもメールなど文章で共有。チームで管理していく。

02

不明な部分は 企業に確認

直接言われた内容など、忘れてあやふやな事があれば企業に確認。OA後に気づいても遅い！気になる事は迷わず連絡。

03

ロケ地や企業の ルールを守る

打ち合わせで聞いたロケ地・企業のルールをちゃんと守る。面白いからOKではなく、NGな事は事前に全体に共有する。

企業からの情報をADさんだけでなく全体で共有把握して未然に防ぐ

制作会社・番組全体で情報を把握する環境を整える！

AD、Dだけが情報管理 するのではなく全体共有

仕込み、ロケ、編集、収録、本編と休みなく続いていくAD、Dだけに全てを任せるのはもう時代遅れです。企業としっかりと向き合う事ができず、テキトーな対応になる事で、トラブルが起こり、テレビ業界のイメージが悪くなっていると思います。これからのテレビ業界を守るためにも、トラブルを未然に防げる環境を整えるのが大切です。



③ ロケ仕込みマニュアルを作った理由

01 テレビ制作への 印象を変えたい！

ロケ地検索サイトを立ち上げて、これまで以上に企業や広報さんとお話しする機会が増え、想像以上にテレビ制作者への悪い印象を持っている事に驚きました。伝える事ができない企業が直して欲しいリアルな声を届け、少しでも良い方向に進む一助になりたい。

02 時間がないAD教育 の手助けに！

十分な教育時間を確保するのが難しい番組制作の環境を理解しています。従来の「やって覚える」「何が正しいかわからない」「教育マニュアルがない」といった課題があったと思っています。時間がない中でも、最低限守るべき仕込みのルールやマナーを作る事でAD教育の手助けになりたい。



株式会社ロケグー 代表取締役
稲田 爽

1992年岩手県盛岡市出身。盛岡第四高校を卒業し、中央大学に入学。卒業後、テレビ制作会社オフィスぼくらに入社。その後フリーランスとして独立。ディレクター、制作進行だけでなく、放送作家としてもテレビ番組制作などに携わる。2023年5月ロケ地検索サイト「ロケグー」をリリース。

メッセージ

もっとテレビが良くなるために 素晴らしい映像を届けられるように

テレビ離れや視聴率の低下と言われる時代になっても、多くの企業はテレビのパワーや可能性をちゃんと知ってくれています。だから、無理して協力してくれたり、時間を割いて対応してくれます。ほとんどの番組制作者さんは、取材を受けてもらえるのが当たり前なんかと思っておらず、真摯に企業に向き合っています。誰かの行動で業界全体イメージが崩れています。素晴らしいテレビを作り続けるための、企業と信頼し合える関係を築く力になれば嬉しいです。

